

平瀬川・多摩川合流部整備事業に関する説明会概要

- 1 日 時 令和6年10月6日（日）15:00～16:30
- 2 場 所 高津小学校特別活動室（高津区溝口 4-19-1）
- 3 出 席 者 川崎市建設緑政局 道路河川整備部 河川課
南部都市基盤整備事務所
高津区役所道路公園センター 整備担当
国土交通省関東地方整備局 京浜河川事務所 流域治水課
神奈川県 県土整備局 河川下水道部 河港課
- 4 説明会次第 ①. 平瀬川合流部の堤防整備について
②. 質疑応答
- 5 質疑応答議事

質問者1

今、古い外壁には逆止弁が付いている水抜きがありますが、新しい杭を打って、外壁部分を施工する間に、新しい堤防と古い方の間に、排水口がちゃんと設置され、平瀬川側に流れるように工夫されているかどうか確認したい。その辺は計画的に問題ないと思いますが、すぐに水が溜まってしまうので、質問します。

次に、平瀬橋と多摩川の合流地点の、道路の角度が変わってしまうような絵が前回ありましたが、その辺の内容について今回お示しはしないのでしょうか。分断されてしまうのか、もしくは、まだ検討しているのか、国土交通省さんとの話し合いの中で、今、図面が今出せないのかもしれないですけども、2つ目の質問です。

3つ目は住まいの状況と環境によって変わりますが、我々の方だと、ちょうど多摩川と平瀬川の間に挟まれて、台風19号の時は完全にうちは床上浸水になってしまっており、あそこは少し、凹んでいる。そこにモーターポンプかなんかを設置できないかの回答も聞きたい。一部分的な住民だけの意見かもしれないですが、あそこに住んでいる、2丁目あたりの方々は結構その辺を気になさっていると思う。あの辺の方は、ほとんど家が床上浸水していると思うので、先ほどのその貫通管の話と共に対策を、考えている内容があるのであれば少しお話しいただきたいことが3問目でございます。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 南部都市基盤整備事務所

最初の質問、排水の関係だと思います。最終的には吐き口等をやりながら、現況の排水について確保していきます。今、多分ご心配されていることは、堤防が新しくなって、うまく排水できるかどうかというところかだと思います。そこにつきましては、1番最後の整理の中で、河川管理用通路の縦断的にU字溝を設置しまして、素早く外へ出す形で検討していますので、基本的に水はきちんと平瀬川へ流れるように設計を行っています。

質問者 1

それは施工後の話だと思います。私が気にしているのは、施工中で、7年間施工されるわけですから、内壁を作っていて、そこで土留めができてしまったら排水ができるかわからないです。仮設置状況、そのU字溝が先にできるのだったらそれでも構わないですが、古い土留めと、新しい土留め側の方との間に隙間があると思いますけど、我々が住んでいる住居側から平瀬川側に管を貫通させられないのであれば、その隙間に水が溜まるのではないですか。それが逆流してきて、今度は我々の住居に水が来る恐れがあると思います。完成の時はいいと思います。施工中はU字溝がうまく働いてないと思います。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 南部都市基盤整備事務所

先ほど説明にあった通り、吐口工という形で工事をやらせていただきます。既設の古いラインのところと新たに作るところに間に1回土留めをしまして、1回穴を開けるような状況になります。その時に常設のポンプをその各吐口工に必ずつけるようにして、水が滞留しないような形で作業を進めていきたいと考えています。

質問者 2

言っているのは、道路のところにある、道路に溜まった水を川の方に流すパイプが多分50メートル置きぐらいついていて、その大きなパイプの話ではない。19号の時、そこから逆流して水が入ってきたので、小さなフラップゲート、川沿いのところに今のパラペットを作ったときにもっと太いものにしてもらっていて、その話です。

質問者 1

そうです。今、答えられなくても構わない。ただ、大事なことなので。話が理解されていないのはちょっと困る。1つの豪雨で1工区全体に関わります。すぐ水が溜まります。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 南部都市基盤整備事務所

今ある、小さい方のパラペットに排水管がついていて、その前に構造物を作ったら、間に水が溜まってしまうことをご質問頂きました。新しく作る大きい方の堤防につきましても、同じような排水管を作り、逆止弁もついた管を設置していきます。それがない状態で先に新しい堤防を作ってしまうと、道路の排水等ができない状況になりますので、今後、受注者と施工する順番についてはきちんと確認して作業していきます。必要な排水機能につきましては、設計上設置することになっていますので、今いただいたご意見の通り、後先逆にならないようにきちんと設置していこうと考えています。

質問者 1

施工期間中の話になりますか。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 南部都市基盤整備事務所

前の壁を高くする前に行い、きちんと排水の機能確保をしながら進めていくよう施工順序を検討していきます。

質問者 1

次回の説明会までに明確な答えをおっしゃってください。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 河川課

2つ目の質問は、多摩沿線道路の東久地橋の下を通り抜けられるかどうかのお話だと思います。今回、この東久地橋を今後、堤防整備と合わせてどういう形で整備していくかを、国と協議していますが、どういう形になるというところまでまだ協議で詰まっていない状況です。まだはっきり、今までの様に通り抜けられるようになりますとも、通れなくなりますとも、はっきり言えない状況です。ただ、前回、堤防の作り方によっては通れなくなるとお答えをさせていただいており、この辺は協議が整ってから、お話をさせていただければと思っています。

3つ目の質問は、平瀬川と多摩川に挟まれた三角のところのお話かと思います。前回もこの左側のエリアのところを内水対策、水が浸みないようにしてもらえないかというお話がありました。ここのエリアは地形上、対策が非常に難しいというところを前回もお話をさせていただいておりますが、そういった事情も踏まえた上で、雨水排水施設の設置の可否も含めて、今後も関係局と協議をしていくといったところです。まずは、この堤防整備をしっかり行いながら、そういった問題点を共有している状況です。

質問者 1

前回出していただいた、今の道路よりも沿線道路が湾曲した道路の絵がありましたが、あれはもうなしということですか。

国土交通省関東地方整備局 京浜河川事務所 流域治水課

前回の説明会において、多摩川の堤防整備に伴って多摩沿線道路の線形を少し動かすというお話をさせていただきました。その後、皆様から平瀬川の河川管理用道路を通って多摩川にアクセスしたいといったご要望をいただきました。多摩沿線道路の線形を変更しますと多摩川へのアクセスが困難になりますので、多摩沿線道路の線形を少し動かす案以外にも、ご要望を踏まえ多摩川へアクセスできることを含めた堤防整備の仕方についても改めて検討していきたいと考えています。検討するにあたっては川崎市とも調整しながら進めてまいります。

質問者 2

今の多摩川に出る道がどうなるかという質問に関連していますけど、平瀬橋に関して、検討中で架け替えるという話だったけど、1年前に頂いた回答とも何も変わっていないなっているのは率直な印象です。もう少しなんか見込んだコメントをいただけないでしょうか

か。例えば、今、東久地橋を架け替えるという話があつて、旧東久地橋の辺りに平瀬橋が来るとか、全くそれとは関係がなく、新しい独立した形で平瀬橋を手前の今のあたりとかに架け替えるという風な、結局どうするのでしょうか。旧東久地橋、新しい東久地橋の横にこのような形でくるといような考え方もあると思いますけれども、その辺り、もうちょっと踏み込んだコメントを実際担当されている方からいただけないでしょうか。

あと、もう1点、今回の説明、最後のところで、工事についての住民の家に影響が出るから、家の調査を行う話についてですが、河川管理道路がおそらく脆いのではないかと私は思っています。うちの近所で陥没して、高所作業車の足が道路を貫通して傾いて横転しそうなことや、この近隣に住まれている方から、道路が陥没していた、空洞が見つかったという話を聞いて、この空洞はいろんな場所にあるのではないかと考えております。今回、高圧入ですとか、コンクリートのすごい重量物を打設する作業とか、破壊する作業があつたら、元々くぼんでいた場所なので、土地を造成、埋め立てているような場所は圧力や振動がかかると家が傾くことは十分考えられると思っています。まだそんなに家を作ってから経ってないので、家の傾きとかを調査の時に第三者機関とかでちゃんと測った状態で、工事前と後で家の傾きとかについてちゃんと計測して、何かあつた場合は、この工事の影響かわかるような状態にしていただけないかと思っています。

もう1点は、結局工事は実際いつから始まるのか、その工事説明会は具体的にいつなのか。年末ぐらいにやって、来年の3月から工事に入るのか。僕ら1年も待って、やっと説明会なので、そういうもっと具体的な話をしていただきたい。いつから始まるのか、説明会をするのかっていうタイムラインをもうちょっと具体的に示していただきたいという、3点です。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 河川課

平瀬橋については、今回、どこにどういう物をということはお示しできていない状況です。東久地橋の取り扱いも、まだこれから色々協議をして進めて決めていかなければなりません。東久地橋を横に広げるような形で作ることなども、結局、東久地橋の位置が決まらないと、そういうことができるのかできないのかも検討できない。連携しながらどういう形で作っていくかを検討していくことになるので、今の段階で、今の平瀬橋と同じような位置に作るとか、多摩川側にすごく寄せて作るとか、位置とか構造も含めて、お話できるような状態ではないです。ただ、前回、平瀬橋の代替機能を確保してほしいというお話がありました。その代替機能に関してはしっかり確保していくことについてはお話できる状況でございます。

質問者2

やっぱり今回の堤防は結構高さがあり、河川道路の幅がないので、それを越すというのは結構角度的なものですとかスロープにする長さが必要になる。今の高さは、1メートルぐらいしか上がってないと思いますので、結構無理難題にはなっているとは思いますが、ただ、その橋を使う人は今よりも登らなきゃならないとか、自転車とかが通るには無理が

あるとか、そういう風にはならないよう、通りやすいように考えていただきたい。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 河川課

今回の堤防整備でかなり高さも上がってしまい、当然階段を作るとその分階段の段数も増えますし、その階段の長さもかなり必要になってきます。その必要な高さに対しての階段の長さや幅などもこれからしっかり協議をし、検討して、皆さんにお示しできる段階になったら、説明したいと思っています。

質問者 2

高齢者ですとか、西松屋さんだって子供連れで、ベビーカーの方とかもよく通られている道なので、その辺は道路のほうが優しくなるようにぜひお願いいたします。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 河川課

バリアフリー対応のスロープを作って、この階段を作ることは非常に難しいと思っています。川崎市では、バリアフリー整備はバリアフリーをやっていくエリアを定めているからです。

質問者 2

バリアフリーにならなくてもいいですけど、今も階段と自転車のスロープがありますが、せっかく作るのですから、ちゃんと無理なく渡れるような、橋にしていきたいという感じです。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 河川課

構造に関しては今後、検討してまいります。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 南部都市基盤整備事務所

家屋調査につきましては、工事をやる前に該当の家について調査させて頂き、傾斜やひび割れ等確認させて頂きます。その後、工事終わった段階で、工事の影響がなくなったという判断のもと、事後調査で工事との因果関係がどのくらいあるかをもう一度調査をさせていただき因果関係がはっきりしたところで補償についてご説明させていただきます。

質問者 2

傾きについてはどうか。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 南部都市基盤整備事務所

はい、そういう形でやっていきます。

質問者 2

実際、ポンプゲートの去年の工事でも、結構その周りの方に被害が出ているとか、色々説明会でも紛糾しているところがあったので、今回の文句は当然で、皆さん心配されていると思うので、よろしくお願いします。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 南部都市基盤整備事務所

工事につきましては、令和7年3月に請負業者との契約予定です。請負業者と、施工計画等協議して、どういった形でやろうかというところを決めた中で、工事説明会を行っていきたいと考えています。仮設構台を上流、下流部に1か所ずつ設置する計画にしております。

まして、その仮設構台を作る作業が1番最初の作業になると考えています。その仮設構台につきましては、川の中に入って行う作業ですので、渇水期施工を考えており、来年の今頃から工事のスタートになると考えています。その前までに施工計画を受注者と詰めて、皆様にご説明させていただきたいと考えています。

質問者2

令和8年とか、それぐらいから実際に工事が始まるということですか。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 南部都市基盤整備事務所

実際、機械が動き出したりするのは多分その頃になるかと思います。かなり専門的な杭打ち機を使いますので、その手配とかに、かなり時間がかかるのではないかと考えています。また、受注者と協議した中で、いつからスタートできますとか、どこからスタートしますということを、改めて工事説明会の中でお示しさせていただきたいと考えています。

質問者3

左岸の内水氾濫の件について聞きたいのですが、当面は道路の掃除とか、移動式ポンプの排水を実施と書いていますが、水が溜まった時に連絡をうちからしなくちゃいけないのか、直接来ていただけるのか、どっちなのでしょう。今年も実は水が溜まりまして、消防署に電話したら、けんもほろろに断られてしまった。うちは1番くぼ地で低いもので、常に大雨になると水がたまり、その度に消防署をお願いして来ていただくのですが、今度の場合は移動式ポンプで排水を実施ってことなのですが、私にしてみると出来たら自動ポンプであげてほしいです。どうなのでしょう。去年もお願いしました。

高津区役所道路公園センター 整備担当

内水対策についてということですが、これまでも我々高津区役所道路公園センターが公道については日々管理をしているところがございますので、高津道路公園センターに連絡をしていただければ、対応は可能です。

質問者3

自動ポンプにならないってこともあるわけですね。

高津区役所道路公園センター 整備担当

すでに久地地区に移動式ポンプを置いてある場所があります。左岸側における緊急事態が生じた場合は、そこから移動式ポンプを持っていくということで我々考えています。

質問者3

わかりました。

質問者4

平瀬川の合流部についてお聞きします。現状、プランでいけば、確かに多摩川の堤防の高さまであげるってことで最善の策だとは思いますが、この平瀬川のここの部分は、いわゆる人工河川です。多摩川との合流部は、ちょっと中流から下流の河川の合流の形としては不自然な状況で合流している。そのため、前回の時も多摩川の増水によるバックウォーターで越水したわけですけども、多摩川の水位がどんどん上がっていくと、平瀬川の

水が多摩川の方に、見た目では完全にもう流れていってない、河口の部分で滞留している状態です。それを見ておりました。このプランでいけば、確かに最善策でしょうが、またこの多摩川の堤防の高さまで水位が上がった場合、最初に越水するのは、またこの平瀬川のところだと思います。というのは、この工事によって平瀬川の川幅が狭まるわけですよね。当然さらに出にくくなる。平瀬川からはもう都市部の雨水とかどンドン流れ込んできますから、その行き場がなくなった水が真っ先に越水すると思います。それで、1つの提案ですが、河口の合流部を少し改善することはできないかなということが、私、素人ながら思っています。例えば、対岸の野川にしても、多摩川と平行して大分流れてから、最後、二子玉川の二子橋の部分で合流する。川と同じ方向で合流していく。それによってある程度バックウォーターが抑えられている。平瀬川の場合はもうほぼもう横からこう多摩川に合流している。1つの案としては、現状の多摩川のグラウンドのところを、今の河口の合流部をもう少し延長する形で多摩川と並行して流してから合流することは可能かどうかということも1つ検討してもらいたい。例えば、荒川と中川の関係でもそうですね。荒川の部分と中川の部分、中に大きな堤防を持って、一緒に流れています。だから、そういう形で、東側の最後の合流部のところを多摩川と、何百メートルでもいいですよ、二子橋の手前のところまででもいいですから、少し内側、内堤防を作るなりなんなりして、多摩川からのバックウォーターが直接平瀬川に影響しないような合流部の水路っていう取り方っていうのは、ぜひとも、これ国交省の方の話になると思いますが、その辺、県、市、国交省の方と可能かどうかということも検討してもらいたいと思います。今、確かにこの平瀬川の方のプランいいと思いますけど、その先のまだ橋の部分とか東久地橋の部分とか、そういう合流部の部分がはっきりとはしていませんので、その辺はどうかと1つの提案でお願いいたします。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 河川課

まず今回の堤防のかさ上げは、多摩川の堤防の高さまで、同じ高さになりますので、多摩川が越水、要はその堤防の上から溢れるようなことがなければ、平瀬川の今回整備したところからも溢れることはないと思っています。

質問者 4

ないですか。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 河川課

絶対とは言い切れません。

質問者 4

1番思ったのは、やはり前回の2019年の台風19号で、避難用、今サイクリング用道路とか避難道路と一緒に橋がかかっていますけども、あのレベルまで確実に来ていました。もうその時確実に河口では水が多摩川全体的にどれだけ流れているかはわかりませんが、完全に渦巻いて、多摩川がどンドン上がっていけば同じ状況になって、平瀬川のどンドン上流部から流れた水の行き場が無くなって、多摩川の土手が越水するより

早く確実に越水してくると思う。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 河川課

今回、多摩川が水を流せる計画高水位と同じ高さまでコンクリートの壁で高さを作ります。多摩川の堤防はそれよりも余裕高といって、さらに上のところまで堤防ができていて、そのできているその堤防のところまでを、このアクリル板を整備します。

本来、多摩川の水が流れてくる高さまでのところであれば、平瀬川も今回整備することによって、前回の台風の時と同じような状況になったとしても、溢れてくるっていうことが防げるのではないかと考えています。

ただ、その堤防の高さをも超えるような水がもし流れてくるということがあれば、当然その時は、平瀬川の方も越水します。

質問者 4

それはもう川崎市全体の状況になるわけじゃないですか、多摩川が溢れるってことは。それ以前の問題で、私は真っ先にここが溢れると思っています。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 河川課

今回、ここまで高い壁を作る工事を行いまして、そういったところが防げるようにやっておりますので、ご理解いただければと思います。

質問者 5

前回の説明会では、多摩川の河川敷の方に迂回をさせる形で平瀬川の堤防がくつつくという説明があったかと思いますが、それが今日資料見たら迂回させるお話が無かったの、これはどうなったのかなという風に思った次第です。確認ですけど、東久地橋を迂回させる計画が中止になった理由についてお尋ねしたいというのがまず1点あります。

それから、今の直前のお話では、バックウォーターっていうお話が、消えてしまっていると思います。多摩川の水位よりもバックウォーターによって平瀬川の水位が上がるという現象があるというお話を以前の説明会の中であったかと思うのですが、そこはどうか、今お話聞いて思いました。

それと、今回、第1期の工事ということですが、第2期の工事はいつから始まるのでしょうか。実際に第1期工事でも令和14年までかかるわけですね。それから第2期になるのでしょうか。住民が安心して眠れるのはいつになるのかなというのが、やっぱり住民にとっては、とっても心配というか、気になるところです。昨今の豪雨の事とか考えると、100年に一度の豪雨っていうのがもう毎年のように起こっているというのが現状です。なので、全体の工事、一刻も早くやっていただきたいということが率直な願いです。それが、今日の説明会の中でも見えてこなかったものですから、全体の治水対策、整備計画はいつ頃まで考えているのか、終了するのか、というのをお聞きしたいと思います。

国土交通省関東地方整備局 京浜河川事務所 流域治水課

前回の説明会において、多摩川の堤防整備に伴って多摩沿線道路の線形を少し動かすというお話をさせていただきました。その後、皆様から平瀬川の河川管理用道路を通って多

摩川にアクセスしたいといったご要望をいただきました。多摩沿線道路の線形を変更しますと多摩川へのアクセスが困難になりますので、多摩沿線道路の線形を少し動かす案以外にも、ご要望を踏まえ多摩川へアクセスできることを含めた堤防整備の仕方についても改めて検討していきたいと考えています。検討するにあたっては川崎市とも調整しながら進めてまいります。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 河川課

バックウォーターについてですが、実際、平瀬川の方からの水よりも多摩川の水が上がる速度が早すぎて、多摩川から平瀬川に水がきているということだと思います。そのような現象は、水が流れ込まなくなって上がったのか、戻ってきて上がったのかは、なかなか検証が非常に難しいですが、事実としてそういったことはあるかと思っています。

2期工事についてのお話ですが、今は、1期工事が終わった後から整備を進めていこうと考えておりますが、まだ令和14年もしくは15年からといったところも含めて、明確に、いつから工事を始めるというところまで、検討が進んでおりません。そういったところも含めて、工事の進捗状況を見ながら、次期の工事である2期工事について、どのタイミングで入っていくか検討を進めていきたいと考えています。

質問者5

東久橋の架け替えのことについては、第1期の工事がもう来年から始まるわけですから、早く結論を出していただきたいと思っています。むしろ正直言って、第2期工事の方は1工事のところよりも平瀬川の幅がぐっと狭くなる。河川管理道路も右岸側は狭いし、左側については建物が建っているという現状も一部ですけれどもあります。そういった点で、果たしてできるのかなというのが率直な疑問です。住民としてはできるだけ早く2期についてもとりかかって、計画を進めていただきたい。今のお話ですと、第1期終わってから取りかかるような風に聞こえてしまったので、そこそこははっきりしていただきたいと思っています。

川崎市建設緑政局 道路河川整備部 河川課

1期が終わってから2期をどうするかを検討していくということではなく、当然1期を進めながら、2期をどのタイミングで工事をやっていくかは検討をしていきます。ただ、工事そのものの自体が1期工事と被りながら一緒に工事をやっていけるかといったところは、今後の検討次第で、どういう形を取るかということを決めていく必要があると思っています。場合によっては、工事終わった後にすぐに工事が入れるように調整だけ事前におくこと等も含めて検討を進め、2期工事のタイミングについて皆様にお示しできればと思っています。

質問者5

特に久地1号橋の辺りだと、1メートル近く高くしなくちゃいけないという計画だと思います。そうすると、道路自体今までと同じように使えなくなってしまうということもあるし、そういった点では私たちの日常生活にも大きく関わってくる問題なので、でき

るだけ早く案を示していただきたいと思います。

平瀬橋についても、できるだけ早く、具体的な、例えばエレベーターの設置を考えると
いうようなことなんかも必要と思っています。是非、できるだけ早く案を提示していただ
くように頑張ってくださいと思います。